

3次元で光を集める景観調和型室外灯

ソーラートンボ

4枚の羽で太陽光をキャッチして充電。
夜になるとトンボの眼が光ります。

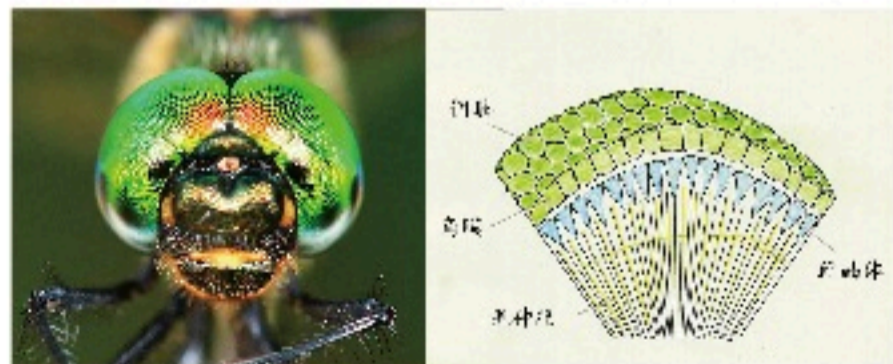
- ・ 2.5W LED2個
- ・ 点灯時間 4時間/日
- ・ 定格出力 51W

自然界のデザイン再発見

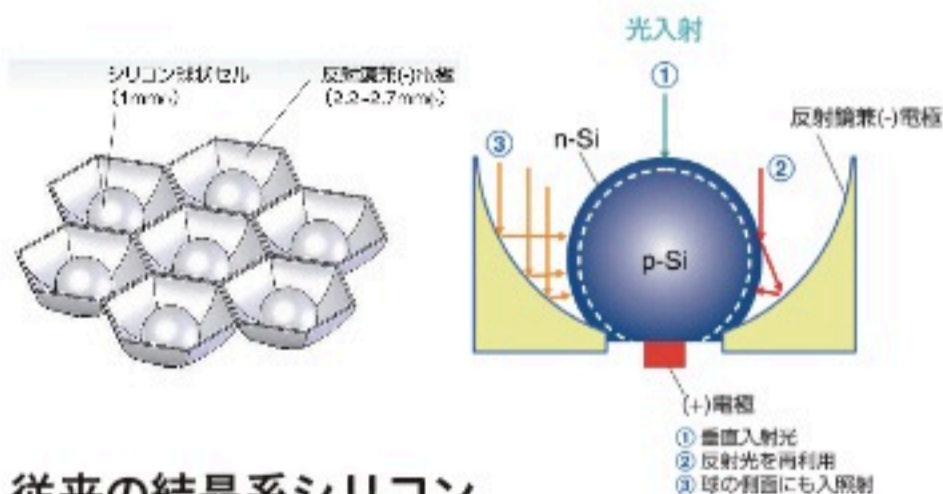
自然に学ぶものづくりのシンボルとしてトンボをモチーフとした太陽光発電を開発しました。使用している太陽電池は性能向上と原材料削減の両立を追求した結果昆虫の複眼と共通する構造となっています。

360度の視界をもつ トンボの複眼

昆虫の眼は複眼と呼ばれ、それぞれにレンズを持つ個眼が蜂の巣のように並んでいます。トンボの個眼の数は2万個前後といわれ、一つ一つが光を収束させ、光感受部位に届けています。そのため、人など脊椎動物のレンズ眼と比べて、視野が広い、感度が高い、細かい動きを見分けられる、などの特徴をもち、獲物の獲得や捕獲者からの逃避に機能を果たしています。

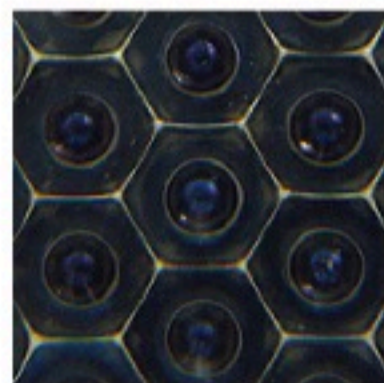


集光型球状太陽電池



従来の結晶系シリコン 太陽電池に比べて

- 1Wあたりのシリコン使用量 1/5以下
- 製造工程のエネルギー消費量 1/2以下
- 同等の性能の実現フレキシブル対応



ソーラープランツ (植物タイプ)

植物のハウセンカの葉の並び方にならい、太陽光パネルを配列。夜になるとふくろうの眼が光ります。



滋賀銀行様で設置予定